

長府地区まちづくり集会（H25.9.22開催）

長府地区まちづくり集会

◎日 時 平成25年9月22日（日）14：00～15：30

◎場 所 長府公民館

◎出席団体数 14団体

長府自治連合会、長府東部自治連合会、豊浦小学校PTA、長府中学校PTA、長成中学校PTA、長府婦人会、長府商工振興会（商業部会）、長府観光協会、長府満寿会（下老連長府支部）、長府体育協会、長府東地区民生委員・児童委員協議会、長府地区社会福祉協議会、長府東部社会福祉協議会

◎市出席者 総合政策部部長：三木潤一、総合政策部政策調整監：星出恒夫  
地域支援課主幹：秋枝淳司、主任：齋藤浩三  
長府支所支所長：久保田洋一

◎傍聴者 3名

◎次第

- |                       |        |
|-----------------------|--------|
| 1 開 会                 | 14：00～ |
| 2 部長あいさつ              |        |
| 3 基本的な推進方向について        | 14：05～ |
| ・総合政策部政策調整監から説明       |        |
| 4 地域の現状と将来を見据えた課題について | 14：30～ |
| （1）地域課題について           |        |
| （2）課題解決や活性化などについて     |        |
| （3）総括                 |        |
| 5 閉 会                 | 15：30  |

◎まちづくり集会の目的

地域の自主性と独自性を活かし、市民と地域と行政がお互いの立場を尊重した本市にふさわしい参加と協働によるまちづくりを実現するため、住民自治による地域分権を推進することとしている。

そのため、様々なまちづくり団体が一堂に会し、基本的な推進方向や身近な地域の課題などについて話し合う「まちづくり集会」の場を提供し、住民自治によるまちづくりの機運を高めることを目的とする。

長府地区まちづくり集会（H25.9.22 開催）

【開催の様子】

9月22日に開催した長府地区まちづくり集会へは、地域づくりなど、地域活性化のための諸活動を自主的・主体的に行っている団体等から13名にご参加いただき、自治連合会長を司会として、長府地区が抱える地域課題、地域の活性化に向けた意見交換などを行いました。



【課題整理結果】

長府地区まちづくり集会の中で、参加者どうして話し合われた内容を、地域課題とその解決方法とに分け、コンパクトにまとめています。

課題解決や活性化につながる意見は、個人で解決すべきものは自助、地域で解決すべきものは共助、行政が解決すべきものは公助に分けて表示しています。

長府地区まちづくり集会

9月22日

地域課題	個人で解決するもの (自助)	地域で解決するもの (共助)	行政が解決するもの (公助)
<b>安心・安全</b> 津波等災害時の避難場所 (公民館等)			
<b>子育て</b> 山陽地区の子育て支援施設	地区で既に取り組んでいる		駅周辺部に児童館建設
<b>交通</b> 恒常的な交通渋滞(国道整備)			
<b>まちづくり</b> 長府、長府東部地区一帯の まちづくり			市のまちづくり方針が不明 瞭であり、明確な方針を
<b>高齢者福祉</b> 老々介護問題	活動への積極的参加	地域で買い物支援	空市営住宅への優先入居
	高齢者の定義見直し(75歳以上?)		
		人材のリストアップ(特技)	高齢者への活動の広報

【議事：地域の現状と将来を見据えた課題について】

【司会】

長府自治連合会長として、市から司会のご指名を頂きました。

僭越ではございますが、司会が務まりますかどうか、皆様方のご協力、豊富な経験と豊かな教養を持って、ご発言のほど、よろしくお願ひしたいと思います。

それでは、地域の現状と将来を見据えた課題についてということですが、まずは地域の課題を自由に出して頂き、分野ごとに整理をしたいと思ひますのでどうぞよろしく。なお、発言の際は挙手の方をお願ひ申し上げます。

【市】

なお、発言された課題等については、コンパクトに整理してスクリーン上に出しますので、ご覧いただきながら進めて頂きたいと思ひます。

【司会】

普段からお話されている事を、そのままストレートに出して頂ければ結構です。

【市民】

1つ目は、昨年のタウンミーティングで取り上げられている問題なのですが、この間、私たちの東部地区に、宝くじ協会から、立派な防災の機材を寄贈して頂いて、現在、自主防災に取り組んでいます。

そのため、昨年も緊急避難場所のことが話題になったと思うのですが、市長からのお答は、長府東公民館を避難所に指定するのは難しい。もしかすると、長府東公民館そのものが孤立するかも分からないので、市としてはそういった所は使わないということであった。

地域住民の話や要望を総合的に判断すると、長府東公民館は、海拔5～7メートルにあるため、たとえ南海地震で津波が来たとしても、全部浸かることは、まずあり得ないという考えに至りました。

地域の高齢者の会議で、災害時は長府小学校に避難して下さいと言っても、現実として難しいので、是非、長府東公民館を避難場所に加えて頂きたいという意見が、現在も非常に強く、これを何とかしたいと思ひています。

2番目は、子育て支援のことですが、各地域には、子育て支援のために児童館が整備されています。現在、市が整備している下関駅ビルの中に、育児スペースを設けるとのことで、非常にタイムリーで立派な政策だと思ひます。

市内各地にそういった施設が出来ている訳ですが、長府東部地域といひますか、山陽地域にはそういった施設が無いために、非常に子育てに困っておられるので、そういった施設をこの地域にも設置して欲しいという意見が出ています。

3点目として、交通の問題です。全体的には難しい問題ですが、長府トンネルは老朽化して、神鋼に向かう国道も狭いまま、40年来、ほったらかしになっている。

この時代、長府のまちづくりの中で、交通渋滞というのは、非常に良くない体系です。

国道筋も、あれをスッと上がられないために、トンネル側の2号線、あそこが狭いので、印内の交差点でどちら側もみな帰りが止まってしまう。拡幅して左折がスムーズになれば、

長府の町への通勤も楽になり、商業活動も活発になるので、道路を拡幅して渋滞を解消することが必要ではないか。

私たち市民で解決できる課題ではありませんが、非常に大きな課題として、今、私たちの議題として取り上げられています。こういったことについて、何かご意見を頂きたいと思います。

【司会】

2号線の改修の問題は、どこら辺まで進んでいるのでしょうか。

【市】

まず1点は、要望を含めた課題を全部お出し頂いて、そして自分達で解決できるところは、解決策をご検討頂く。また、要望としてお出し頂くところはお出し頂いて、我々も所管部局に伝えますが、少なくとも先程申し上げたように、今回は行政解決のための要望の場ではないということで、大変失礼ですが、それが1点。

今の点から言えば、現在の国道の改修に至っては、印内交差点から長府トンネル、この2号線の問題は、最重要課題として政府、県等への要望を強くしております。

今までとは、やはり違って、県においても印内交差点は一番の最重点地区ということで、動き出す気配があるという言い方は、また何とも分からない言い方ですが、以前とは1歩も2歩も前進したかなということです。

【市民】

長府のまちづくりにとっては、非常に重要な問題です。

【司会】

それでは今、長府東部自治連合会から防災の問題、子育ての問題、交通渋滞の問題と課題が出ました。他にこの点に関してでも良いですからご発言ください。

【市民】

長府体育協会から参加しました。お世話になります。

先程、長府東部自治連合会の方もおっしゃっていましたが、かつての長府は、やっぱり全体でまとまっていたものですから、私も1つと思っているのですが、おっしゃった通り東部とこちらの方と、何か境があるような気がしています。

今日も、この中に長府小学校PTAの名前が無いですが、これはご確認されたのですか。PTAには、会長なり副会長がおられると思います。

私が以前から思っていた事として、私は松小田に住んでいるのですが、例えば、まちづくり協議会とか海峡ウォークの会合などをした時には、PTA関連の方というのが、一番若くて、力のある方達だと思っております。

だから、長府は1つということで、皆さんと一緒にやられたら、非常に良いのではないかなと思うのですが、そこの所で、何か線があるような気がしてならないのです。

ですから、例えばこの会議でも、会長が出席できなければ、副会長が代わりに出席するとか、皆さんが集まる、こういう1つの輪になった会議であれば、お誘いをして、一緒に話をすれば良いのではないかと思います。

一番力があるPTAの方たちは、若い方もいますので、その辺も踏まえて、東部の方と

1つになれたらと思います。よろしく願いいたします。

【市】

長府小学校のPTAにもご案内しましたが、本日は欠席というご返事がございました。

【市民】

長府東地区民生児童委員として参加しました。

私は民生委員の立場から発言させて頂くと、今、直面している問題、これは高齢者の方にあてはまる事ではないかと思いますが、高齢者福祉の問題です。

市営住宅の上階層、要するに2階以上の階層に、高齢者がかなり住んでおられます。

八幡町の市営住宅の事ですが、その高齢者は要介護、要支援の方がとても多いです。

だかといって、市営住宅の1階、或いは古城町の市営住宅などには、空き部屋が結構あるのですが、そこからの要望には、やはり老老介護の問題というのが8割もあるというのです。

私たち、或いはその方たちを支援している福祉施設からも、市の住宅課等にお願いをしているのですが、足の不自由な方は5階まで歩いて上がれないので、福祉施設に入られている方も結構いらっしゃるのですが、その市営住宅に入っている方を一度、転居させるといった事は無いらしいのです。

私が訪問する中で、こういった話が沢山でてきます。だから、そういった課題は、私たち個人や地域で解決するというよりも、市が、そういった足の不自由な方たちを優先して1階に、或いは空いている部屋も結構ありますので、そういったところに入居させるとかをやって欲しいなと思っています。

今日は、そういった私たちが抱える問題を聞いて頂きたいと思って、参加しました。

それから、今は老老介護の世帯が増えていますが、認知症の方は、症状が進むと、最終的には体も不自由になっていきます。

去年の今頃は、とても元気で、5階まで自分で階段を上っていたお婆ちゃんも、現在は車椅子が必要となっています。そのような状況ですので、やはりもう少し、そういった課題から片付けていって、まちづくりというものをやっていかないと、本当の意味でのまちづくりは出来ないのではないかという風に思います。

それと、今日は朝から、功山寺まで墓参りに行って来ましたが、そこには三吉家や、豊永家の墓といった色々な史跡があります。しかし、そこは草も伸び放題で荒れていて、京都のお寺の墓所と比べると、雲泥の差があります。

そういった中で、本当に文化であるとか、或いは歴史の町と叫ぶことができるのだろうかと思います。

市の保健所に、そんな状況をお話ししたら、そこは巧山寺の敷地であるため、市から口出しすることは出来ませんし、恐らく、功山寺は、国からの補助金を受けているので、こちらから指導してもらわないといけない、と言われました。

やはり、これは長府まちづくりの1つの大事なポイントになるのではないかなという風に思います。

【司会】

ありがとうございます。ただ今、高齢者福祉の件について、色々と述べて頂きました。教育の面について、PTA会長から何かございますか。

【市民】

長府中学校のPTA会長をしています。

先程もお話がありましたように、今、長府地区では、豊浦小学校と長府中学校の2校での連携、小中連携ということで、コミュニティ・スクールや学校運営評議会などがあるのですが、多分、下関市内では一番うまく機能していると思います。

その目的については、学校の子供たち、学校の先生、PTAだけではなくて、地域の皆さんにも入って頂いて、学校運営をしていきながら、地域の子供たちを育てていく、そういった環境を作っていきたいと思いますという事です。

まさしく、まちづくりの1つの例だと思うのですが、学校を拠点としてまちを作っていく、コミュニティを再生していくための活動をしています。

その活動がすごく上手くいきまして、多分、県内でも最新の先進地ではないかと言われています。

現在、学校の生徒数は950人で、近年はこの人数が続いています。

学校の先生方も受け入れられている中で、心配されていたのが、その東地区の長成中学校とこちらの長府中学校との連携がなかなか上手くいってなかったそうです。

確かに年に1回、長府の小学校2校と中学校2校が集まって、年間のスケジュールの交換や、講習会などを開いているのですが、それ以外の交流活動はありませんでした。

そういう中で、学校という1つのシンボルを置いて、地域を活性化していく。

長府地区では、長成中学校と長府中学校というところで、ちょっと難しい部分もあるなという気もしますが、だからといって互いの仲が悪いという訳ではないです。

何年前までは、年に何度か、一緒に執行部として活動してきましたので、これから長府地区全体を1つの長府地区として捉えていくのであれば、色々と乗り越えていかなければいけない事もあるのではないかなと思いました。

【司会】

ありがとうございます。豊浦小学校と長府中学校の取り組みに関しては、現在、市の教育委員会も進めております教育ネットの見本となっているとの事でございます。これをますます充実させて、教育ネットには予算面が伴っていませんので大変ですが、教育ファンドというのを地域で立ち上げようかなという話を、今は思っております。あとございませんか、教育関係で。

【市民】

豊浦小学校PTA会長をしています。

補足のようになるのですが、今言われたように、その長府中学校と豊浦小学校、それとコミュニティ・スクールについては本当に順調に進んでいます、他の地区を見ると、どうしても予算的なものが足りない、という事をよく耳にします。

それこそ先日、市P連の会長ともお話をしたのですが、下関市にはそういった部分への予算化がない、でも他の地域や他の県には、そういった予算化もされている例があるとい

う話をお聞きしたので、できればそういった所を参考にして頂いて、多少でも予算化されると、もっとコミュニティが進んでいけるのではないかと思います。

【司会】

ありがとうございます。それでは次に、環境についての問題ございませんか。

例えば、町内の公園の草刈りが大変だとか、そういう問題もあるかとは思いますが、河川の清掃であったり、それぞれ地域に面したところは、それを請け負ってボランティアでやっている訳なのですが。

先程の教育の問題もですが、子供が減少して統廃合という問題も、田舎では起きております。その点、長府地区は、まだまだ大規模校ではありますし、心配は要らないはずだとは思いますが。

漠然と言っても、なかなか発言が無いようでございますが、長府地区は、観光認定もございまして、観光協会の方、何か観光面でありましたらご発言をお願いします。

【市民】

長府観光協会の会長をしています。

本日の会議については、私も内容を良く把握しないまま参加させて頂いたのですが、先程、市から色々ご説明頂いて、住民自身による地域分権という目線で、観光もまちづくりの一部なので、観光目線から少し感じたことを一言申させていただきます。

昨日は、我々観光協会の会議があったのですが、長府の観光というのは非常に中途半端といえば中途半端で、素晴らしいシーンがあるのに関わらず、いまだに下関の中心的な観光となっていない。

自信を持って、全国に発信できる素材がありながら、観光地化しない理由は、これ私の個人的な意見ですが、観光地としては住民と同列で観光地が成り立っているところは非常にやりづらいですね。

各地から長府に住みたい、或いは長府の城下町に住んでみたい、として素晴らしいこの長府に移って来られた方が沢山いらっしゃって、その方たちは、要はここに住みたいという意識で来られている。

一方、我々観光協会としては、長府観光にもっと打って出たいと思っている。

そこが、その目的が違うものですから、1つのまちづくりとしては非常に困難である。

観光地で成功している所というのは、それ一点に絞って観光地化している町が、観光で成功しております。長府も、そこに持っていきたいのですが、昔から住まわれている住民との温度差というか、それぞれがやっぱりある目的を持って住まわれているので、その辺が非常に進めづらい、その点が1つ。

それと今、観光地には無くてはならない駐車場のスペースとか、そういうことに繋がっていくのではないかと。

元々、観光で打って出ようという町であれば、しっかりとした駐車場も整備してあっただろうし、その辺の考え方の推移等があって、今の町になっている。

今後のまちづくりをどうするかということなのですが、観光協会としては、一応、地域分権じゃないですけども、やっぱり町の人たちと共に、じっくりと話を進めないと

りは、現状として、勝手に観光、観光といって、走る訳にはいかないもので、先程、市がおっしゃったように、これは行政がどうにかすることではなくて、住民と、要は町が、今後5年先、10年先の長府をどうしていくかという会議をしながら、進めていくべきと感じております。

それともう1点は、長府の練塀が最近、非常に壊れたりだとか、無くなったりしています。これは普段、普通に生活している方は気付かれないのでしょうけれども、観光目線で見ていくと、非常に残念なことです。

今年、景観大賞を全国で長府の地区が取ったので、その祝賀会もやりました。

せっかく景観大賞を頂いた町並みが、果たして今の状態で、5年先、10年先、20年先に維持できるのかという課題も、これは町でどうにかしていかないと、最近、小中学校の練塀が壊れたということで、行政にお願いをしに行きましたが、やっぱり予算がない、それを補てんする財源がないということで、要は行政も当てにできない、という言い方は大変失礼ですけども、しかるべき提案とか要求はしていかないといけないんですけども、それだけを当てにしている、多分守れないだろうなというのをつくづく感じました。

せっかくの、この練塀調の城下町というのは、そういった景観があつての素晴らしい地域ですので、その辺をこういった会議、まちづくりの会で、住民の方々と相談しながら、決定するものなのかなと感じました。

長府の観光に関しては、まちづくりの一部ではございますけれども、観光協会という団体で動いていますので、その組織の中で色々会議をして、それを皆様方にもお伝えしながら、進めていきたいなと思っております。今後ともお支援とご鞭撻よろしく願いいたします。

#### 【司会】

ありがとうございます。ではもう時間が無いようでございますが、最後に、長府商工振興会から、何か商工振興会のあり方とか将来性とか、活性化とかありましたらお願いします。

#### 【市民】

長府商工振興会です。よろしく申し上げます。

今、色々なご意見を聞いておりましたのですが、ちょっと大変失礼な言い方かもしれませんが、まずこの会議は、どこに着地点を持っていこうとしているのか、よく分かりませんでした。

結果的に、昔で言うTMO、あの中心市街地活性化計画を作る際に立ち上げたタウンマネジメント機関の委員を私はやっていたのですが、その時には、将来的には唐戸地区はこういうふうにして。長府地区はこういうふうにして。という風に全体的な、ぼんやりとしたものでも描いて頂いて、そういうふうにして地域分権も含めて、そういうのも少しずつ推奨していくべきじゃないかという話が当時は出ておりました。

もうかなり前の話だと思いますが、それが今、ご説明を聞いた限りでは、あと2～3年後に、ぼちぼち始めましょうといった感覚になっていると思うのです。

これは例えば、今ここで、それぞれの少数団体の責任を持たれている方々がおられます



けども、その中での問題点とか課題を上げていっても、ここで解決策は絶対に出ません。

だとしたら、そういった事をする前に、まずは、長府をどんな町にしていこうかという方向付けをした上で、その組織を作り上げる中で細分化して、そちらの団体はこういう観光に関してしっかり進めてください、こちらの団体は地域の安全に関してしっかり進めてください、教育に関して進めてください、という形でなければ、多分10年とか20年経っても町は変わらないと思うのです。

あと平成27年、28年の予定がタイムスケジュールにありましたけれども、2～3年待って、ゆっくりして町が活性化するほど、のんびりした状態ではないんです。

それは商工振興会という商業、工業を担う会としての考え方なのですが、そんな状態で、悠長なこと言っていて、町が活性化できるかという考えは全くないのです。

現実的には今、観光協会さんを含めて、色々な各種団体の、経済に関する部分での諸団体を一本化していって、その中で、それぞれに今言ったように細分化した、それぞれの役割をもっと重要視していくような新しい組織づくりをしようじゃないか、ということもすでに始まっています。

ですから、それが地域分権、地域内分権という形の組織作りという形でいえばそうかもしれないませんが、結局、全体で、下関市がどこに向かって進もうとしているのかが見えているのかということ。

多分、我々市民は段々と見えなくなってきました。ぼやけてきているのです。

昔は4本柱という形で、観光に使いましようとか、水産に使いましようというのがありましたけど、今が段々とぼやけてきて、どのように手をつけていっても、どれもなかなか該当していかない。だから何かしら全体が、町全体というか市全体が浮足立った形で、その割には活性化、活性化を謳っているというような感じがしてならない。

ですから、こういう機会というのは、是非、今後も続けて頂きたいと思いますが、もうちょっと打ち出しどころをはっきりとした中で、実のある議論ができる1時間、1時間半という形を取らないと、これを何回と繰り返しても、これはこの前の会議で意見が出たよね、それは我々でどうしようか、こういう協力はできるよ、という範囲が言えても、解決策はなかなか出てこないと思います。

だから、各地でもし、これをやられているとしたら、そうした部分で是非ご検討を頂きたいなという感じが致します。

今、ずっと皆さんの意見を聞いていて、なかなかその立場として、どういう意見を言うべきなのだろうかという物が見つかりません。それを非常に感じたところがございます。

ちょっと長くなりましたが、商工振興会としての部分で言えば、商業の部分と工業の部分の中で、今度10月5日に企業フェスタという形で、そういう形の工業部門が中心になりますけれども、そういった形で町をアピールするものですか、町の活性化を謳う、そういう形のもの、やったりもしています。

商工振興会という、そういう風な形でも、何かを動かそうとする時に商業界からの要望に対して、例えば鳥居前の入口に信号的なものを何とかしたいんだという話をすれば、公共部会では、何とか共有できるようにしたいねという話が出てきたり、そういった意味で

は連携ができていると思うんです。

いかんせん、色々な諸団体、沢山ある仕事ですから、その連携ができてない。

それが実情だと思いますので、まずは、その連携をとっていき、そして組織を作ること。

これは私ばかりではなくて、そういう風にやっぱりそういう部分をやっていく方向というのが、必要なんじゃないかなと思います。

一生懸命、商業に関して言えば間違いなく大苦戦しております。アベノミクスうんぬんというのはありますけども、多少は上向き加減というのは、ごく数パーセント、一部の企業だと思っておりますし、そこに地域で商業を担う部分がもしも衰退していったら、例えば先程ちょっと住民という話が出ましたけども、住民の皆さんが、私は長府に住んでますよという形で、胸を張って誇って言える町なのかということなのです。

長府といったら、あそこは昔、商店街あったよね、今はホコリまみれでシャッターばかり閉まっている町だよねと。

観光面だったら、ちょっと壇ノ浦から走ったらホコリが舞い散る、紙くずが飛び交っているような町があるとしたら、観光客のリピーターは絶対に行きません。

だとしたら、町が生き生きとしていたら、商業ももちろん、普段、町に生きづく人ももちろんですが、そうした人たちが本当の意味で連帯して、連携を加えて町を作るということを考えていかないといけないと思います。

その上で、それぞれの細かい所を協力しあって、解決していく組織という風にして頂きたいなど。また、していきたいなど思っておりますので、立場からの意見になったかどうかは分かりませんが、お聞きした中での私の個人的な意見はこれで終わります。

**【司会】**

ありがとうございます。まだまだ、ご意見は沢山あるようでございますが、時間でございます。

**【市民】**

ちょっと一言よろしいですか。

長府地区社協と自治連合会の事務局をやっています。

今、長府商工振興会が言われた点、本当に同感です。

今から3年先ぐらいの見越してといっても、何か手遅れのような、全く進まないような感じがします。

今日は、私もまちづくりということですから、具体的にそういった意見を言えるのかと思って参加したのですが、要望は受け付けられないというお話でした。

しかし、ちょっと意見を言いたいのなのですが、今年のタウンミーティングは、直接、市長に思いを投げかけることが出来ましたので、本日は、そういうつもりで参加したのですが、それが出来ないという事なので、私も発言することも無くなりましたから、提案だけします。要望を聞いて頂けるのだったら急ぐこともありますので、お願いをしたいという気持ちもあります。

**【司会】**

それでは、市が、今までに出たご意見をパソコンで入力し、整理をして頂いておりますので、その対応策などを考えてみたいと思います。

ここに地域の課題として安心・安全、津波と災害時の避難場所等についてということでご意見がございました。

公民館を避難場所にするというご意見が出たと思います。これに対してどういうふうな解決方法があるのか、お考えください。ご意見を発言してください。

**【市民】**

解決方法が無いから出している。

大体、今日は、自助、共助、公助というのがあって分けて、話し合うようになっているけど、自助、共助に関して言えば、我々自治会を担当している底辺の組織では、もう自助、共助部分は既に一生懸命です。

行政にお願いするというのは余り無くて、それぞれで健康づくりから、災害の自主防災から、色んな自助や共助を、皆で話あって底辺でやっています。

それを大きくこうしたいとなった時、そういったまとまりが無いので、公助も出てこない、なかなか解決しない部分が非常に多いという感じなのです。

だから、それは少なくとも、避難場所についても、行政がそこでも良いよと言えば、それで済む問題なのですが、なかなかあそこは危なくて孤立してしまうから駄目だというような意見ばかりで、地域住民と感覚の差が非常に大きい。

今、子育て支援にしても皆、野いちご文庫であるとか、個々では皆、対策を練って自助・共助ではやっているのです、子供たちを集めて。

そのような体験的な施設がちゃんとあった方が良いなという意見が強いので、今日は出てきたのです。自助、共助の部分は小さいながら、今、取り組んでいるというのは間違いありません。

**【市民】**

子育て支援ですが、長府駅を主に整備して頂いて、駅の周りに住んでいるので大変助かっています。ありがとうございます。

今、あの駅の山側の方、正面に向かって右側の方の土地が、昔は自転車置き場だったのですが、そこが空き地になっていて、市の土地でもないらしいのです。

その場所に関してちょっと案が出ていて、児童館を作ってくれたら良いなという話が、随分前から出ているのです。

確かに、子育て支援ということであれば、人口減少ということも考えれば、長府地区の駅の側にそういうものがあれば非常に良いなと。

あと、社協の向こう側に出先機関があるのですが、そういうのも1つにまとめて、そういう施設ができたらいいなと私も思うし、意見も出ています。

この土地を、市に確保して頂くことがまず先決かなとも思うのですが、何か噂ではマンションが建つとか、色んな話がございます。

**【司会】**

あれは、市の土地っていうことでは。

【市】

色々な話を聞いていましたが、詳しい話は分かりませんが。

【市民】

その辺を早い機会にやって頂いて、子育てママたちが快適に子供を育てられるというような地区になったら良いなと思いますので、よろしくお願いします。

【市民】

山陽包括支援センターと一緒に。

【市民】

要望ということで、今、児童館というお話が出ましたので、余分になるかも分かりませんが、一言、言いたいと思います。

皆さんもご存知だと思いますけど、図書館ですが、もう前から分かっていた事です。駐車場が狭いし、館内もバリアフリーになっていません。お年寄りも階段を使って2階まで登らないといけません。

私も時々利用しますが、市は予算の関係とか、土地が無いとか言われますが、土地が無いという事はありません。

私の考えによれば、隣に宮ノ内公園がありますから、公園は難しいといった話もありましたけど、そこを優先するよりも、やっぱり児童のためになるのだったら、行政が知恵を絞って、あそこに移設する。そして今ある図書館は、お寺やお宮にも迷惑が掛かりますので、長府福祉館とか児童館とか、そういった形で組み合わせて、地域の発展を考えて欲しいと思うのです。

そういう要望ですが、これは受け付けて貰えるかどうか分かりませんが、よく見たらありますし、やるといっても、何年も先の事です。ちょっと面白くないと思っています。

【司会】

ありがとうございます。他にございませんか。

無いようでしたら交通の問題に入りたいと思います。2号線の渋滞というのは、非常に大きな問題で、私のはっきりは分かりませんが、既に県から国への要望案件として上げられている問題だと聞きますし、あれはもう3年前からあると聞きましたが、はっきりしたことは私も知りません。

しかし、色々な働きかけがあると聞いていますので、近く、この問題は解決できるのではないかと考えております。

次に、まちづくりの観点から長府と東部地区の一体のまちづくりということで、こちらの長府地区と、東部のその辺の方とは、かなり温度差があるような気もしております。

何かこの件につきまして。

【市民】

本日の会議は、住民自治によるまちづくりというテーマで、恐らく市が今日の場合を設定したのは、今、皆さん、色々なご要望とか、施設や物を作って欲しいとか、そういった要望の場になっていると思うのですが、多分、市が今回、私たちに求めているのは、今、この長府地区に住む皆さんが、色々な知恵を出し合って、今の長府地区にあるそういった資

源なんかを使っていきながら、より良いまちづくりの、まずは知恵を出してください、そういうことだと思っております。

だから、その趣旨からずれてしまうと、この会自体の意味が無くなっていくのではないかなと思います。

例えば、先程、会長が言われましたように、市の教育委員会の教育ネットも上手くいっていますが、年間の経費は1,300,000円もかかります。

それこそ、市からの補助金は、2年ぐらいで0円になる。

それではどうするかという時に、皆で、地域の皆さんに集まって頂いて、皆でお金を作る方法を考えていこうと。

そこで、市の補助金が無くなったとしても、やっていける方法を皆さんで話し合っているのです。そういう中で、資金づくりができつつあるのです。

そんな方向性で話をして欲しいということじゃないかなと、私は思っています。

そういった方向性で話したらどうかなと、教育の立場から言えばそういうことです。

#### 【司会】

ありがとうございます。次に、高齢者の福祉問題ということで、老老介護とか色々な問題の中で、これは非常に大きいものであろうかと思いますが、地域として、どういう風に取り組んでいるのか、取り組むべきか、ということでご発言をお願いします。

#### 【市民】

長府東部の社会福祉協議会です。

ご老人の増加で色々と1人暮らし、それから高齢者の老老介護という問題が増えております。

歳末のおせち料理配布で、御年77歳以上の方が280人を超すような状況です。

独居老人をどう守ろうかということで、自助、共助、そういうことを長府東部地区では、私も最重点の地区課題として取り組んでおります。

今のところ、特に問題は無いですけど、日本の人口は50年前まで1億もいなかったが、今は1億2,000万人です。統計を見ましたら、2010年、これが一番のピークで、これから段々と下がるということになっております。

ですが、人口が下がる、下がると言っても50年前と比べれば2千万人以上も増えている訳で、急に、何千万人も減る訳ではありません。

それから私の考えとして、今は65歳以上の方を高齢者と呼んでおりますけど、国の統計を見ましたら、山口県の平均寿命は、男性が79歳、女性は86歳です。こういう時代で、65歳が高齢者なのかと私は思います。

高齢者というのは、75歳以上の人を言うべきであり、65歳から75歳の方を、もっと社会活動に駆り出す何か方策を出して頂きたい。

それから、地域で活動をしていて一番思うのは、情報の収集が難しいということです。何かあれば、すぐ個人情報うんぬんで、すぐには出せない。

ですから、例えば地域に要介護の障害者が何人いるのかという情報が全く分からない。市からは、もちろん、そういう情報はもらえませんが、市から、そういう情報が出せる

ものなら出して頂ければ、上手くできます。

独居老人とか高齢者とかの見守りなんかは、かなり地区内では進んでおりますが、これも限界があつて、年寄りが遠慮気味と言いますか、日本人の特性でしょうけど見守りしたくても、なかなかそれに応じないのです。

鍵をかけるとか、そういうことで、自分からバリアをして、受け入れないというような状況にあつて、担当者は四苦八苦ししています。

民生委員や福祉員、自治会員なんかが色々しているのですが、自分自身、それを拒んでいるというのもありますので、市の広報で、時々、そういう自治会では活動しているのだが、そういうことに少し参加したらどうかとか、特にふれあいサロンとか、地域によっては話し合いの場とか、それから童謡唱歌とか、ダンスの会とか、色んな健康活動をやっている訳です。

しかし、なかなかそれに参加する人が少ない訳ですから、市からも、その地域の活動に参加しませんか、ということをや時々広報に出して頂けたら助かります。

私たちが回覧はしていますが、地域の自治会活動については、なかなか皆さんが応じないということが多いです。

それから、1つ話は違ってきますけど、避難場所で長府小学校が入っていますが、現状を見られて避難場所に指定されているのかどうか、ということに疑問を持っています。

というのは、長府小学校は敷地内にありますが、しかし、いつも門が閉まっています。

何かあつた時に、この門を開けて中に入るべきかどうかという事については、非常に疑問を感じますし、地域の人は誰も、災害時に長府小学校に避難しないと思います。

そういう状況を市の方が知っていて、ここを避難場所に指定しているのかどうかということですが。

それともう1つ、言いにくい事なのですが、こういう会議を何回開いても、なかなか私は、この何年後にどうあるべきなのかについて結論づけていくことが難しいと思います。

私としては、こうしたいという市の決意を持って啓発されて、これに皆が賛成とか反対とか言う方が、意義があるのではないかと私は考えております。

**【司会】**

ありがとうございます。実数から申しますと、我々、社協の方で年末におせち料理を市の社協補助金を頂きながらやっているのですが、77歳以上の純然たる1人暮らしが、もう長府地区だけで500人を超えているのです。長府東部社会福祉協議会の方、長府東部の方でも300人くらい、いらっしゃいますか。

**【市民】**

284人です。

**【司会】**

それと老老介護の世帯を加えますと、長府町民の約1割の世帯は、そういう状態であるかと思ひます。

市の方で、それについての対応も大変難しいかと思ひますが、商店街としてもそういう方々の買い物の支援とか、そういう取り組みをしながら、今後の見守りを続けていきたい

なという考えを思っています。

それでは、文化・歴史ということで、長府観光協会から何かございますか。

【市民】

先程もお話をしたように、現状の長府の町を受け入れて、メンバーで住民と相談しながら、今後のまちづくりを進めていきたいと思います。

その中に、どうしてもここは行政にお願いすべきだというところがあれば、要は、そこありきで話を進めるのではなくて、まず自分達でどこまでできるかということのを土台にあげて、最終的に、ここはお願いというところを行政に上げていくスタンスで、観光に関しては進めていきたいと思います。以上です。

【市民】

ちょっといいですか。

今、自分が考えたんですけど、自分たちで取り組んだら良いなという事で、この前あった市全体の医師関係の会合でも私が発言したことですが、今、老老介護にしても独居老人にしても、地域で見守っていかないと駄目だし、この人たちの世話をサポートしていかないといけない、というのがあります。

実は今、一番苦労しているのが、そういう人たちをお世話する側の方が、先ほども老老介護と言いましたが、こっちのお世話をする人もお年寄りが多い。

ただし、お年寄りでも元気な方がかなりおりまして、90歳になっても、まだグランドゴルフをしている人というのが何人もいる訳ですから、そういった90歳の方達は別にして、特性を持ったリーダーの人を、皆で、自分たちだけで育成しようとしても無理ですから、地域で例えば、長府町全体に、そういう特技を持った人がいるとか、そういう人を全部リストアップして頂いて、その人達から、色んな遊びであるとか、色んな事を教えて頂く。

それを自分の町内に持って帰って活かしていく。こういった事をやるリーダー作りを、自分たちで作っていく以外に、方法が無いのではないかという気がしております。

昨日、観光協会の総会及び理事会で決まったことで、来年は、観光協会がひなもん、或いはさげもんで、長府町を盛り上げようというイベントがあります。

市と一緒に計画をされておられるのです。

例えば、そのさげもんも、昨日、持ってきておられましたが、こんな風船みたいなものをいっぱい糸に刺してぶら下げる。これは、地域の人でも年寄りでも作ろうと思えばできるのです。ただ、そういう事を教えてくれる人がいないからできない。これを地域も参加して、そういったさげもん作りで、地域のお年寄り、皆が喜んで赤や黄色の色紙で風船を作ってぶら下げて。それを今度は、さげもん祭りに地域参加で全部持ち寄る。お爺ちゃん、お婆ちゃんが、自分が作ったものを観光客が見てすごいなと言うことで、お爺ちゃん、お婆ちゃんも、それが励みになる。

そういったリーダーと同時に、そういうのを教える人を探して、そういうグループをこの長府町で立ち上げていったらどうかという気がしました。

この前、行政にそういうリーダーを作る、そういう仕組みを作ってくれとお願いしたの

ですが、これはやっぱり、自分達で出来る問題ではないかなと思っております。

【司会】

ありがとうございます。まだまだご意見もあるかと思いますが、予定のお時間となって参りましたので、最後に皆様方のご意見を整理したスライドをご覧いただきながら、集会の総括をさせていただきます。よろしくお願ひします。

【市】

すみません。私の方から、今日のまちづくり集会に対するコメントを、少しだけ言わせて頂きます。

まず、何箇所か回っている途中なのですが、ここ程、ご理解を頂いたところは逆にないかなと思います。最後まで、要望陳情で終わったところも結構あります。

我々の説明が悪くて、なかなかそうは言いながらも、誤解をされている所があるというところで、若干お話させていただきます。

まず、長府地区のまちづくりを、皆さんに全て考えて下さいとは言っておりません。

実は、今あった話の中で、下関はどうするべきか、というのは当然、次期の総合計画を今考えていますので、それも色んな方の意見を頂いて考えております。こうした中で、総合計画の中で整理をしていきます。

そういう意味では、福祉についてこういうことをやります、あるいは観光についてこういうことをやります、商店街振興についてはこういうことをやります、というのは今から総合計画の中で考えていくことでございます。

その中に、実は、地区別の総合計画というか、基本計画というか、そういったものを持つ必要が、今後はあるのではないかという議論も出ています。

そうすると、例えば長府地区に於いては、何に特化してまちづくりを進めていくかという話にもなって参ります。これは大変、語弊があつてはいけないのですが、例えば長府地区では観光ですといった時に、長府地区に福祉は要らないの、何が要らないの。

地区別の計画になると多分、特化したものを1つ出してくるのです。

だけど商店街振興、あるいは福祉というのは、全域にわたってあるべき計画ですから、それはそれとしてある。

その中で山陰がどうだ、山陽がどうだという話の中の計画で、1つは出てくるかもしれない、あるいは教育で言えば社会教育という面で、図書館整備というのも当然あります。

その中で今後、長府図書館をどうするかという考え方も当然出てくる話です。

その全体のまちづくり、或いは長府地区全体の構想だとか、その中での位置づけだとか、というのを皆さんに考えて下さいという話は大変失礼ですが、していないのです。

何をやって頂きたいかという、冒頭から言っている、そうは言いながら、計画を当然立てますけれども、どんどん財源は落ちてくる、それなのに施設は老朽化して、やらないといけない事は沢山ある。或いは、社会保障はどんどん右肩上がり、やりたいけどもやれないというのは、どんどん増えてくるという事です。

それと、全体の社会構造も変わってくる中で、実は行政がどうも丸投げのような話になってしまう。賄いきれない状況が生じている中で、お互いが役割分担なり共有をしてやっ



## 長府地区まちづくり集会（H25.9.22 開催）

て頂けませんでしょうか、というその辺りをお考え頂けないだろうか。

1つの例で、あり得ない話かもしれませんが極端な話ですが、図書館を整備しろ、と言っても1つもできない。そうすると、土地は我々がどこかに出してやるから、建ててくれさえすれば、運営は自分達でやるから、そのランニング経費を行政が持って、例えばその建設費を行政がどうにか賄なえ、というような話というのは考えられる。

そういった、我々はこうしたい、ああしたい、例えば行政には出来ないだろうから、こうすることは我々でやるから、あなたの所はこういう所に協力して、というような話をできれば、して頂きたいということです。

今日は、「その所はどうなのだ。おかしいでしょう」とか、「案を出すべきでしょう」とか、なかなか他の地域で、このご発言がなかったんです。

今日は、我々としても非常に勉強になりました。ということで、もう1回、我々も整理をさせて頂いて、次のステップで話をさせて頂きたいと思います。今日はどうもありがとうございました。

### 【司会】

以上、総括を部長に頂きましたが、初めての集会でございまして、なかなか本心から喋ることができなかつただろうと思いますが、度々こういう会が設けられると思いますので、それを目標にして今後、取り組んでいきたいなと考えております。ありがとうございました。

### 【市】

それでは最後に、閉会をさせていただきます。本日はお忙しいところお集まり頂きまして、どうもありがとうございました。

初めてと言いますか住民自治のまちづくりの機運を高めるということで、まずはこういった形でやらせて頂きましたけれども、不十分だったという点はお詫び申し上げます。

また来年も、別の形で進めていこうとは思っておりますので、その際にはご協力をお願い申し上げます。

それでは、長府地区のまちづくり集会をこれで終わらせて頂きます。本日はありがとうございました。